

令和2年度 第1回古河市総合教育会議 会議録

日 時	令和3年3月3日 午後3時00分～午後4時40分
会 場	古河庁舎2階 特別会議室
出席者	〔構成員〕 針谷市長 鈴木教育長 篤教育長職務代理者 綾部教育委員 小林教育委員 中野教育委員 〔事務局関係〕 落合企画政策部長 塚原教育部長 高森企画課長 峯教育部副部長 細身企画課副参事 島村教育総務課長 植野企画課係長 相田学校教育施設課長 大澤学校教育施設課課長補佐 間瀬学校教育施設課係長 石井指導課長 落合指導課副参事 沼田指導課係長 中根指導課指導主事 中山指導課指導主事
傍聴者	なし
議 題	(1) 教育に関する大綱について ◆大綱について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として位置づけられ、基本的な理念や、目標、施策の体系及び方向性は第2次古河市総合計画第Ⅱ期基本計画を基本としている。 ◆委員による意見（主な意見を抜粋） 家庭教育学級をはじめ、子どもや学校、保護者のつながりが重要。会議などの関われる場や講座を積極的に進めていただきたい。 ◆教育に関する大綱の承認について 教育委員含む全会一致で承認。 (2) いじめ問題について ◆いじめ認知件数と態様の分析及び対応について 認知件数は小学校低学年が一番多く、高学年になるにつれて減少傾向にある。いじめの態様は、言葉による暴力が一番多く、次いで軽度の暴力行為があげられる。認知件数が多いのが問題ではなく、積極的に取り組んだとして解消率が高いことが重要だと考える。全学年に相手を思いやる言動についての指導や情報モラルの指導と保護者への啓発等を実施した。

	◆委員による意見（主な意見を抜粋） いじめ問題は毎年の課題。根絶は難しいと思うが、いじめ解消にむけて尽力していただきたい。いじめが発生した場合に備え、日頃から学校と教育委員会の連携が必要だと思う。児童クラブなど学校や家庭以外でのいじめ問題があるので、誰がどのように対応するか学校、家庭、地域と連携し対応していくことが重要。また、いじめの内容について、学校や教育委員会へも全件情報共有すべきだと思う。スクールカウンセラーをはじめとする相談窓口もより活用してもらえそうな取り組みを実施してはどうか。 ◆認知件数及び解消率の対比について 認知件数のみならず、解消率についても、対比して原因や傾向が把握できるようにしていただきたい。
	（３）コロナ禍における教職員の児童生徒への指導方法について
	◆指導方法について 新型コロナウイルス感染症拡大防止を施した学習環境をつくり、円滑な教育課程の実施にむけて年間指導計画の見直しを行い、学校行事についても本当に必要か再検討し、感染拡大防止を実施した。また、登校時の健康観察を実施し体調管理にも気を配るようにしている。 ◆委員による意見（主な意見を抜粋） 学校でクラスターが発生していないことは感染拡大防止が徹底されているからだと思う。今後も、保護者や地域と協力して継続して対応していただきたい。コロナ禍であっても授業参観をはじめとする学校行事を実施できるよう配慮していただきたい。大声を出せないといった子どもたちのストレス解消に向けて取り組みを進めていただきたい。
	（４）ＩＣＴ教育について
	◆ＧＩＧＡスクール構想について ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け、校内通信のネットワークや児童生徒１人１台学習用端末の整備と教職員のＩＣＴ活用支援研修を実施した。コロナ禍でも、市内児童生徒の学びを保証するため、端末を貸し出し、オンライン授業動画や学習支援アプリを活用した学習を実施した。 ◆委員による意見（主な意見を抜粋） 端末を１人１台整備したことは、教育に対する注力が伝わってくる。端末の活用も必要だが、実際に文字を書く、本等の活字を読むといった既存の学習方法と組み合わせて活用してほしい。また、端末を長時間使用することによる眼精疲労等健康にも配慮していただきたい。少しでも学校で児童生徒に寄り添えるよう教職員の研修ではオンライン会議を推進していただきたい。学校行事もオンライン環境が整備されたので、様々な方法で実施できるようにしていただきたい。
その他	特になし